

男女共同参画センター、しごと支援センター、生涯学習推進センター、NPO・ボランティア協働センター等の複合施設としての取組とその他関係機関との連携した取組を行う拠点

地域：熊本県
 主体：くまもと県民交流館「パレア」男女共同参画センター（公設公営）
 場所：〒860-8554 熊本市手取本町 8 - 9 テトリア熊本 9 F
 連絡先：TEL (096)355- 1187 FAX (096)355- 4317
 E-mail：parea@pref.kumamoto.lg.jp
 ホームページ：http://www.parea.pref.kumamoto.jp/

【特徴】

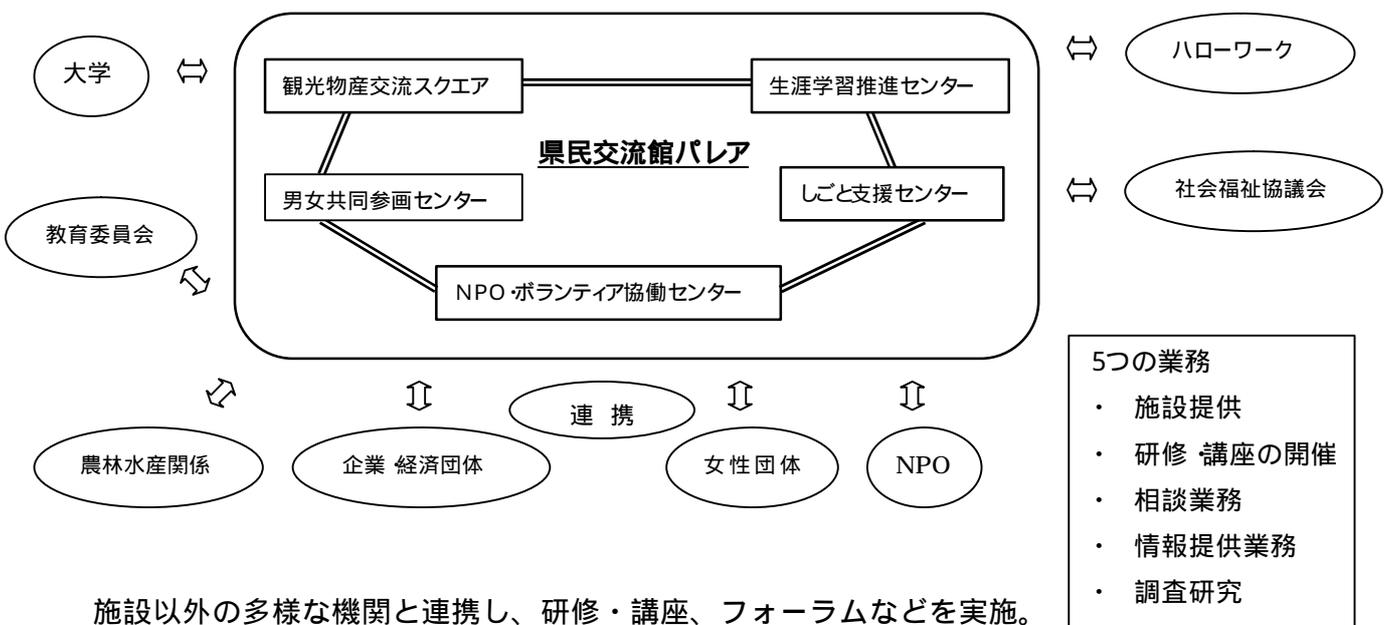
- ・ 県民のいろんな活動を支援する施設や機能が一箇所に集まり、様々なチャレンジが可能。
- ・ 複数の機関と連携し、研修・講座やフォーラム等を実施
- ・ 年に1度複数の機関と合同イベントを開催
- ・ 利用者の利便性が高い情報のワンストップ化。

【センターの概要】

NPO・ボランティア、男女共同参画社会づくり、生涯学習活動など、県民の自発的で主体的な様々な活動を応援する拠点施設。

施設内には、NPO・ボランティア協働センター、男女共同参画センター、しごと支援センター、生涯学習推進センター、観光物産交流スクエアの5つの機能を持ち、県民活動、NPO・ボランティア団体等の活動拠点としての会議室、情報ライブラリー等を設備。

《推進体制》



施設以外の多様な機関と連携し、研修・講座、フォーラムなどを実施。

【各センターの事業概要】

男女共同参画センター

啓発事業、情報収集・提供、人材育成、女性総合相談事業、調査研究、自主活動・交流支援、

ネットワークづくり

しごと支援センター

求人情報（熊本パートバンク等）や雇用・能力開発機構等、ハローワーク等、就業相談、技術講習（経理中級、パソコン、ビジネス実務、老人介護等）、ネットワークづくり

生涯学習推進センター

学習情報提供、学習機会提供、学習相談、指導者養成研修、普及啓発、交流会・ネットワークづくり、調査研究等

NPO・ボランティア協働センター

NPO法についての相談及び申請・届出の窓口業務、ボランティア活動・団体運営等に関する相談、情報収集・発信、NPOやボランティア活動に関する各種セミナー、交流会、講演会開催、ネットワークづくり、県社会福祉協議会等と連携して行う情報提供

【具体的事業】〔利用者の声〕

NPO活動にチャレンジ

「病児保育施設の必要性」を考えていた女性達が、開館とともに、男女共同参画センターに出入りして、働く母親のための病児保育のために活動したい旨相談したところ、同じパレア中の「NPO・ボランティア協働センター」の紹介を受け、そこで「行政がやれないことをやるのがNPO」との言葉に「自分たちにも何かがやれる」と自信を貰った。

ほとんど毎日、パレアに通い詰め「NPO入門セミナー・設立セミナー」に参加するなどの研修活動を通じてNPO法人「チャイルドケア・サポートみるく」を立ち上げた。現在、会員100人を超え、6か月間で延べ270人の子供を預かった。平成15年度は県の助成金を受けることができた。

「チャイルドケア・サポートみるく」は、「パレアでは、他のグループの方からの貴重な経験談などが聞けて有益だった。また、設立・運営の相談にも応じてくれて大変助かった。現在も情報収集には欠かせないところです。」と語っている。

➡ 連携先：パレア ホームページ（前掲）

印刷製本室
会議資料やチラシづくりに便利な印刷製
本室も近くにある。

パレアルーム
【開館時間】9:00～21:00
(NPO法人認証申請・届出の窓口業務は17:00まで)



再就職にチャレンジ

男女共同参画センターの「女性総合相談」で、家庭問題等について相談したところ、実は再就職を望んでいたということがわかり、本人の就労のためにパレアの中にある「しごと支援センター」を紹介した。そこに併設されている国のパートバンクから求人紹介を受けたが、キャリア不足のため就業相談を受け、再就職にチャレンジするために技術講習としてパソコン講座や介護講座等を受講し、資格取得後再就職を果たした。

主な再就職先としては、行政機関や中小企業等の事務職、福祉施設等の介護士、保育士となっている。

→ 連携先：しごと支援センター、パートバンク

技術講習：雇用保険受給の対象とならない就業希望者（育児や介護等を理由に退職し再就業を希望する方や就業経験のない方を対象）

- ・ 経理中級（日商簿記2級程度、ビジネス実務、パソコン）
- ・ パソコン（ワード、エクセル、表計算3級、ビジネス実務）
- ・ ビジネス実務 訪問介護（ホームヘルパー養成研修）



県の技術講座受講により、資格を取得した人の就労率は65%（年）を超えている。

仕事にかかる様々な相談を受け、関連する情報を提供。経理やパソコン、訪問介護などの技術も、パートバンクもあるので、気兼ねなく相談できる。

【受付時間】9:00～19:00

（パートバンクは平日17:00まで）

ボランティア活動にチャレンジ

男女共同参画センターで、「地域リーダー育成研修」や「男女協働政経塾」の「実践的市民参加講座」等を受講したり、又は同じパレアの中の生涯学習推進センターで「生涯学習ボランティア養成講座」や「社会教育主事等の地域づくり研修」を受講し、本格的に市町村のボランティア活動のリーダーとして活動を開始した。

活動に当たり、男女共同参画センターやNPO・ボランティア協働センターで情報収集をしたり、ワークショップ等に参加している。

→ チャレンジ先：市町村の審議会委員・男女共同参画推進委員・男女共同参画懇話会委員・民生委員・農業アドバイザー等



起業にチャレンジ

本人が真剣に起業を考え検討を重ねながら、男女共同参画センターを訪問し、そこで得た情報により「男女協働政経塾」の「キャリアアップ講座」、「起業支援講座」の会計システムやマーケティング等について厳しくレポート提出を行うことなどにより、講座受講後に起業し、喫茶店開設や税理士事務所・薬局等を運営している。

男女協働政経塾(男女共同参画センター): 大学や企業等との連携を図り、実践的の市民参加講座や女性起業支援、キャリアアップ、政治経済など様々な講座を提供。

→ 連携先: 大学、企業、経済団体、農林水産業関係者など

講座例

後期講座5 募集期間:5月1日(水)~10月24日(木) 女性起業支援講座Ⅱ【応用編】 ~起業家へのチャレンジ~ ■土曜講座: 熊本県立大学経営学部 教授 古田 龍助 ■11月6日~1月22日までの毎週水曜日/全10回 起業を考えている女性を対象に、直接聞いておきたい内容や 会計についての基礎知識及び事業計画書の作り方を学びます。		前期講座1 募集期間:5月1日(水)~5月23日(木) キャリアアップ講座 ~自己実現を目指して~ ■土曜講座: 熊本県立大学経営学部 教授 立山 龍男 ■5月5日~4月7日までの毎週水曜日/全10回 さらに充実した生活を送りたい。これはずべての人の願いです。 では、キャリアアップにとって必要なことは何か、講義や経験 者を通じて幅広く学びます。	
1 ベンチャー起業の神話と現実 11/6 古田 龍助 氏 熊本県立大学経営学部教授	6 最初の資金調達 12/11 三宅 成光 氏 国民生活金融機構熊本支店融資第一課長	1 男女共同参画とキャリアアップ 6/5 石橋 敏郎 氏 熊本県立大学経営学部教授	6 人事評価と昇進 7/10 大藏 裕 氏 熊本県立大学経営学部教授
2 顧客ニーズの本質と売れる商品 11/13 渡草 守正 氏 ホムスエスエー代表取締役	7 人事と労務の基礎知識 12/18 伊本田 記代子 氏 社会保険労務士	2 私の奮闘記 6/12 藤川 英子 氏 西日本システム建設株式会社代表取締役	7 コミュニケーション力は成功の秘訣 7/17 高本 宗徳 氏 第一フード食品取締役
3 事業計画書づくり1 11/20 古田 龍助 氏 熊本県立大学経営学部教授	8 会計システムの構築 1/8 田代 みゆき 氏 税理士	3 記者の見たそれぞれの生活 6/19 中村 美弥子 氏 熊本日日新聞社広報局	8 平等とは、分権とは 7/24 藤野 祐三 氏 九州大学法学部教授
4 事業計画書づくり2 11/27 古田 龍助 氏 熊本県立大学経営学部教授	9 起業に失敗したら 1/15 野口 敏夫 氏 弁護士	4 会計がわからなくて成功なし 6/26 森 美智代 氏 熊本県立大学経営学部教授	9 企業力、女性力 7/31 宮崎 昇雄 氏 全熊本代助建設社長
5 会社の設立手続き 12/4 船本 和広 氏 弁護士	10 事業計画書の発表会 1/22 古田 龍助 氏 熊本県立大学経営学部教授	5 女性パワーとマーケティング 7/3 立山 敏男 氏 熊本県立大学経営学部教授	10 生活と法律・キャリアアップの心得 8/7 高本 朝子 氏 弁護士

【今後の課題】

- ・ ネットワークでチャレンジを総合的に支援するスペシャリスト(アドバイザー)の養成
- ・ チャレンジ内容にマッチしたセミナー、相談会の開催
- ・ インターネットを利用した具体的で役立つ情報の発信
- ・ ロールモデルの発掘と情報提供
- ・ チャレンジ支援キャンペーン

平成16年度は男女共同参画センターにおいて「地域におけるチャレンジ・ネットワーク環境整備推進事業」に取り組む予定。

再就職などの就業支援や市民活動支援など多分野にわたる事業を外部機関との有機的な連携を図りながら総合的・効果的に展開。

地域：横浜市

主体：横浜女性フォーラム（公設民営）

場所：〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1

連絡先：TEL (045)862-5050 FAX (045)862-3101

ホームページ：<http://www.women.city.yokohama.jp/>

【センターの概要】

1987年に横浜市が建設し、(財)横浜市女性協会が管理・運営を横浜市から受託。2001年に横浜市男女共同参画推進条例によって、姉妹館「フォーラムよこはま」とともに横浜市における男女共同参画推進の拠点施設として位置付けられる。同時に横浜市における男女共同参画に関する苦情処理相談機関を受託。

【事業概要】

情報事業/相談事業

- ・男女共同参画関連図書・資料の収集
- ・情報資料活用講座、パソコン講座（年間100コース）の開催
- ・「心とからだと生き方の総合相談」「女性への暴力相談」（総合相談室：年間6,500件）
- ・「条例に基づく苦情処理相談」（男女の人権相談室：年間500件）

就業支援事業（学習研修事業）

- ・再就職講座（主婦、DV被害女性）、起業創業講座、市民講師養成講座、リーダーシップ開発講座、能力開発講座、海外就職応援講座等の開催
- ・併せて、自己確立講座の開催、就労サポート相談の実施、就業関連情報の提供

市民活動支援事業

- ・市民活動女性、自助グループ支援、啓発教材共同開発の実施
- 再就職講座
- 活動場所の提供
- 助成金の提供
- 研修口座の開催
- 事業連携先の開拓

【主な機関との連携】

事業分野	具体的事業	協働方法	協働先
就業支援	講座ルトラヴァイエ、就労サポート相談	講師派遣、協力	21世紀職業財団、ハローワーク、横浜職業訓練協会、女性団体
健康	女性の健康セミナー、講座等	協力等	国立横浜病院、横浜市医師会、乳がん患者の会、NPO等
生活自立	子育て関連展示、ボランティア入門セミナー・講座、おもしろ理科・工作塾等	共催、協力等	鶴見区、NPO、市民団体・ボランティア、横浜市障害者スポーツ文化センター等

市民活動	フォーラムまつり子育て関連事業（わくわく子ども広場、暮らしと相談、展示、青空市場、女性起業家ショップ等）	共催、協力、支援等	かながわ子育てネットワーク、国立女性教育会館、各種団体、NPO、市民団体、女性団体等
	市民活動・研究助成	支援	市民グループ、自助グループ
DV	DVと女性の健康シンポジウム、子どもの性被害防止教育セミナー等	共催、企画協力	WHO「DVと女性の健康」国際調査プロジェクトチーム、NPO
	DV家庭の子どものケア講座	共催	NPO
	DV被害女性のためのPC講座	協力	東京ボランティア市民活動センター、マイクロソフト、ヒューレットパカード
相談関連	アディクション・セミナー	共催	アディクション・セミナー実行委員会

【連携の具体例】

再就職支援のための複数機関との連携

・ハローワーク横浜鶴屋町

再就職講座「ルトラヴァイエ」のカリキュラムの1コマとして、ハローワークを訪ね、市内の求人状況や、求職活動の実態、ハローワークの利用方法などについて講義を依頼。

・横浜職業訓練協会

再就職講座「ルトラヴァイエ」の修了者限定の特別枠パソコン講座の実施を依頼。

・21世紀職業財団

毎月1回、「女性のための就労サポート相談」として、雇用管理アドバイザーを派遣してもらい、面接相談を実施。

・女性団体

再就職講座への講師派遣を複数の団体に依頼。

・ボランティアセンター

DV被害当事者の就労のためのIT講座を企業協賛、ボランティアセンターのコーディネートにより非公開で実施。

NPO等との連携による講座の提供

「理科大好きな子どもを育てたい!」をテーマに、子どもたちに体験を通して理科を学ぶ楽しさを感じ、科学のおもしろさを発見してもらう活動を展開するNPO法人との共催により、児童・生徒(保護者同伴歓迎)を対象とした「おもしろ科学体験塾 in 戸塚」をほぼ毎月実施。また、大人を対象として、科学体験活動インストラクター養成研修会を実施しており、その際、小学校教諭を講師として招き、「現場教員から聞く安全への配慮、叱り方/ほめ方」というテーマでほめ方や注意の与え方等について話を聞くなど外部機関との有機的な連携により、盛りだくさんのプログラムを実施している。

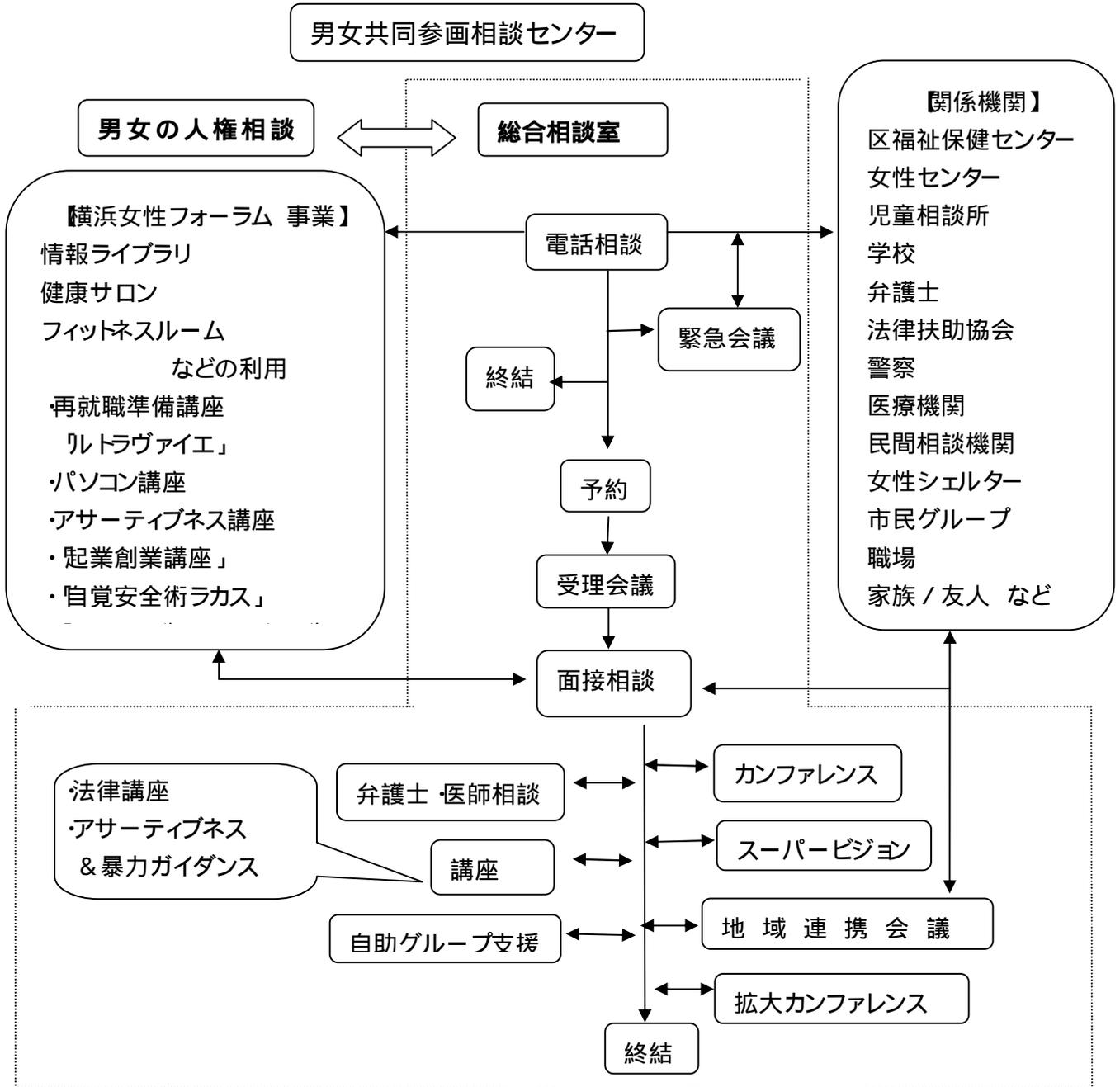
【再就職準備講座の現況】

「この不況の中、夫の収入もどうなるかわからない」「たとえ自分1人でも働いて、子どもを育てていかれるように」などの理由で、なんとしてでも働かなければ、と、横浜女性フォーラムの再就職準備講座を受講される方が増加中。「市就職準備講座ルトラヴァイエ(フランス語で”再び働く”の意)」は、横浜女性フォーラム開館から15年間続けている講座で、今春、第40期を迎えた。講座はパソコン講習を含めると全20日間プログラム。

これまでの修了者は約1,000人に上り、様々な分野で活躍している。チャレンジと試行

錯誤の末、修了者が就いた職業は、一般事務や経理事務、ホームヘルパー、地区センター職員、パソコン講師、溶接士、造園管理技士、司会業、不動産営業、ライター、アロマセラピストなど、実に様々な分野にわたる。

【総合相談の流れ】



男女平等推進センター、生涯学習センター、人権啓発センター、消費生活センター等の複合施設としての取組と商工・労働部局等庁内の各部局や福岡県や21世紀職業財団等の外部機関との連携により効果的な事業を展開する拠点

地域：福岡県久留米市

主体：えーるピア久留米（公設公営）

場所：〒830-0037 久留米市諏訪野町1830-6

連絡先：TEL (0942)30-7900 FAX (0942)30-7911

ホームページ：<http://www.elpia.kurume.fukuoka.jp/>

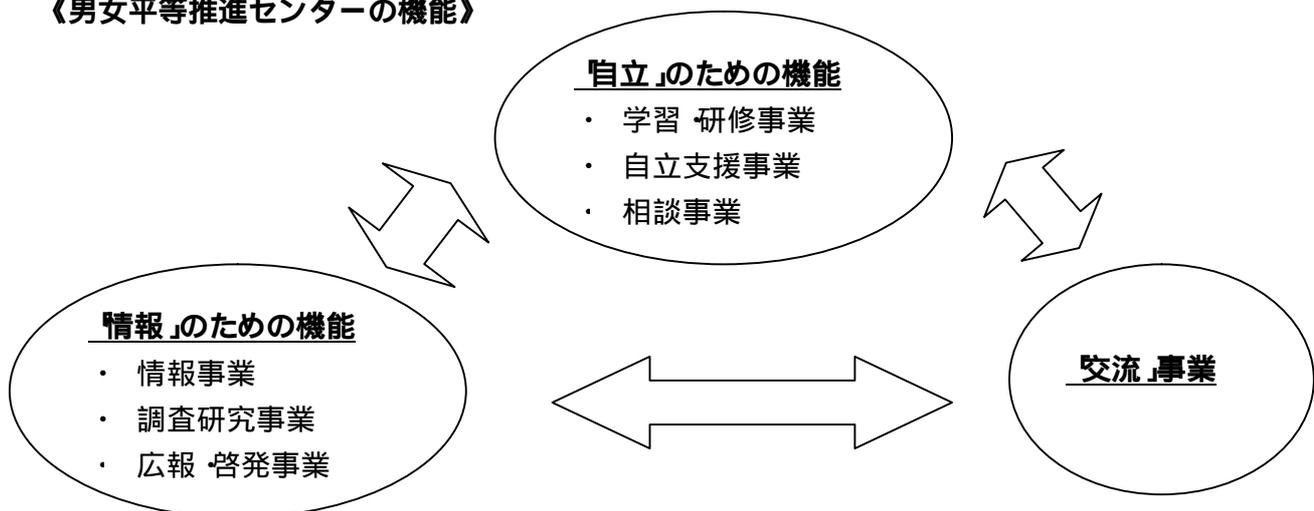
【特徴】

- ・市民のいろんな活動を支援する施設や機能が一箇所に集まり、様々なチャレンジが可能。
- ・複数の機関と連携し、研修・講座やフォーラム等を実施
- ・えーるピア久留米のデータベースに蓄積されている情報や久留米市及び周辺自治体、久留米地域に関係する団体、NPO、企業がインターネット上で公開している情報を横断的に検索できる「@えーる Navi」を運用。

【センターの概要】

男女平等推進センター、生涯学習センター、人権啓発センター、消費生活センター等の複合施設（えーるピア久留米）として、「男女の自立と男女共同参画社会」の実現、「いつでも、どこでも、だれでも学べる」学習環境づくり、市民がお互いに人権を尊重しあう意識を高めていくための学習、啓発、消費者利益の擁護及び増進に関する様々な事業を実施する拠点施設。えーるピア久留米のデータベースに蓄積されている情報や久留米市及び周辺自治体、久留米地域に関係する団体、NPO、企業がインターネット上で公開している情報を横断的に検索できる「@えーる Navi」を運用。

《男女平等推進センターの機能》



【連携先及び事業内容】

久留米市商工部労政課

「コミュニティビジネス入門セミナー」、「コミュニティビジネスフォーラム」、「コミュニティビジネスしごと創造塾」等の実施

地域活性化や新しい働き方、新たな就業の機会を生み出すものとして期待されているコ

コミュニティビジネスを女性の起業にどのように活用できるかを考える。

平成14年度末には、九州経済産業局、(財)九州地域産業活性化センター、市労政課との共催により、「コミュニティビジネス巡回キャラバン in 福岡」を実施し、一般市民向けにシンポジウム等を開催。

福岡県生活労働部
労働局新雇用開発課

福岡県市町村再就職支援講座「再就職のためのパソコン技術講習会」

再就職を希望し、再就職に向けて準備している人を対象に、再就職に当たっての基礎知識や技術習得の場を提供することにより、再就職の促進と機会の拡大を図る。



働く女性のためのパソコン教室(H15 初～中級程度)



働く女性のためのパソコン教室(H14 中級程度)

平成13年度パソコン技術講習会」受講生はいま・・・

平成13年度に実施したパソコン技術講習会の受講生を対象に、講座修了後のアンケート調査を行いました。この講座では、技術の習得だけでなく、長く働き続けるために必要な法律や社会保険等の知識、心構え等を学びました。長期にわたる講座に毎日熱心に参加し、知識と技術を身につけた受講生からは、「就職に結びついた」という喜びの声がたくさん寄せられました。
(アンケート実施 :平成14年10月)

講座名	再就職のためのパソコン技術講習会」	働きたい女性のためのパソコン技術講習会」
期間	平成13年9月12日～27日(10日間)	平成13年11月1日～30日(21日間)
参加者数	20名	20名
講座内容	・パソコン42時間(ワード・エクセル) 講話 ・ビデオ視聴	・パソコン87時間(ワード・エクセル) 講話 ・ビジネスマナー
平均年齢	37.7歳	38.1歳
回収率(率)	14件(70.0%)	14件(70.0%)
就業者数	9人	13人
主な職務	一般事務、経理事務、入力作業など	パソコンインストラクター、起業など

(協力/久留米公共職業安定所、福岡県筑後労働福祉事務所、福岡県女性就業援助センター)

資料出所 :男女平等推進センタージャーナル(季刊誌)H15 春号)

久留米市公共職業安定所
福岡県筑後労働福祉事務所
久留米市雇用問題協議会

「パートタイマー就業教室」

パートで働くときの心構え、税金、社会保険、労働基準法等について学び、就業機会の拡大に資する。

福岡県筑後労働福祉事務所

「働く人のなんでも労働相談」

労使関係の安定と労働条件の向上を図る。

「再就職サポートセミナー」

育児等により退職した者の再就職が円滑に図られるよう支援。

(財)21世紀職業財団

再就職支援事業「Re・Beワークセミナー」

育児、介護のためいったん離職し、再就職を希望する女性を対象に必要な知識を学ぶ機会を提供し、円滑な再就職を促進する。

久留米商工会議所
久留米市商工部商工政策課

「女性の起業支援セミナー・講演会」

様々な形で起業したい女性たちのニーズに合わせた起業準備とその後の事業運営のための基礎知識を学ぶ。

【今後の課題】

- ・ 関係団体との連携の強化によるより効果的な事業展開
- ・ 新規事業の組立・実施

男女共同参画センター、生涯学習センターとの複合施設として連携事業を行う拠点

地域：福井県

主体：福井県生活学習館「ユー・アイ ふくい」(公設公営)

場所：〒918-8135 福井市下六条14-1

連絡先：TEL (0776)41-4200 FAX (0776)41-4201

E-mail：seikatug@ain.pref.fukui.jp

ホームページ：http://www.manabi.pref.fukui.jp/you-i/index.html

【特徴】

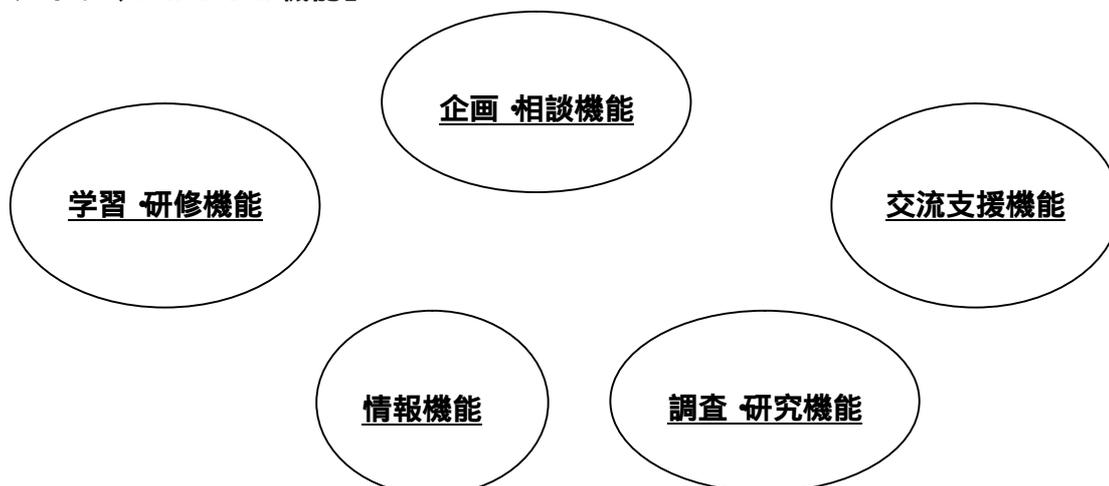
- ・ 「いつでも、どこでも、だれでも」、生涯にわたり学習できるよう、情報提供の充実、学習機会の拡充・体系化を目指す「福井ライフ・アカデミー」(事業等の総称)との連携事業として、講座やセミナー、イベント等を開催。
- ・ 「ゆー・あいカレッジ」として、女性が社会のあらゆる分野に参画するための知識と能力を身につけるとともに、男女が互いの理解と協力のもとに男女共同参画社会づくりを促進するための、誰でも学習できる講座・セミナーを実施
- ・ インターネットによる福井県生涯学習情報ネットワークシステム「ユー・アイふくいネット」により、県民の日常生活の中での知的欲求活動(学び 生活創造)を深めるための手がかりとして、生涯学習情報を提供するとともに、県民及び生涯学習機関が主体的に情報を発信したり、交流ができる空間づくりを実施

【センターの概要】

女性総合センターの機能と生涯学習センターの機能を兼ね備えた複合施設。県民が集い、活動し、表現し、交流する場を提供するとともに、男女共同参画社会づくりをめざした活動の積極的支援と、県民一人ひとりの充実を図るために創られた施設。

- ・ 広く県民に開放され、生涯にわたり多様な分野の学習・文化活動を支援
- ・ 県民一人ひとりあるいはグループ、団体相互の出会い、ふれあいの場を提供
- ・ 少子・高齢化社会など近年の社会情勢の変動にも柔軟に対応するとともに、明るい雰囲気の中で新鮮な情報の提供を図り、福井の歴史や風土にあった事業を展開

【ユー・アイふくいの5つの機能】



【ゆー・あいカレッジ】

男女が共に学ぶコース

男女共同参画社会づくりに受けて、広く県民に意識の改革や啓発を図ることを目的とした男女がともに学ぶセミナー

男性コース

「お父さんと子どものチャレンジコース」として、男性の意識改革と家庭や地域における自立を促すために子どもと一緒にジェンダーについて考える講座

女性のエンパワーメントコース

女性の政策づくり参画ゼミナール

女性のスキルアップ講座

女性の社会参画基礎講座

男女共同参画推進リーダー養成講座

男女共同参画社会づくりに向けて、職場、学校、地域における活動を指導推進する人材を養成するための講座。特に、地域で活躍するとともに、政策・方針決定過程などに参画できる人材を「ふくいソフィア」として養成。

- ・ 行政コース：市町村男女共同参画担当職員、県男女共同参画推進員対象
- ・ 企業コース（出前講座）：男女共同参画に関する研修を実施する企業対象
- ・ 教育コース：保育士・幼稚園教諭、小中高等学校教員対象
- ・ 地域コース（ふくいソフィア）：地域において積極的に活動する意欲のある者

【ふくい女性のつどい】

「福井ライフアカデミー」と連携し、「ふくいきらめきフェスティバル2003」にて、「ときめこう 輝こう 私らしく あなたらしく」をキャッチフレーズに男女共同参画推進のためのセミナーやワークショップ、男女共同参画普及コンテスト等を実施。



【今後の課題】

- ・ 拠点施設を中心としたネットワーク形成を進めていく上で、行政の縦割り組織をどれだけ崩せるか。
- ・ なぜ女性のチャレンジ支援策が必要なのかについて、女性だけでなく男性がいかに理解することができるか。

保育(育児)サポーター養成講座の修了生有志でグループ活動として「芦屋保育サポートセンター」を結成し、活動開始。ファミリーサポートセンター設立に寄与するとともに、新たに「保育グループにこここ」を組織し、地域での子育て支援を実施。

地域：兵庫県

主体：芦屋市女性センター（公設公営）

場所：〒659-0092 芦屋市大原町2-6 ラ・モール芦屋2階

連絡先：TEL (0797)38-2023 FAX (0797)38-2175

ホームページ：<http://www.city.ashiya.hyogo.jp/women/>

【センターの概要】

男女共同参画社会を目指す市民活動を支援するため、平成6年8月に設置。講演会(年1回：男女共同参画週間事業)、各種講座(年間10講座)、相談事業、情報事業、団体・グループ間のネットワークづくり(登録団体「芦屋市男女共同参画団体協議会」を組織。事務局：当センター)等を実施。

【連携先及び事業内容】

芦屋市生活環境部経済課

女性に対する就労支援講座

(財)21世紀職業財団・西宮公共職業安定所(ハローワーク西宮)の協力を得て、再就職を希望する女性を対象に講座を2日間開催。

講演「私だって働きたい - 再就職するあなたへのエール - 」

ワークシートによる適正発見

求人情報の集め方、就職活動の仕方

パソコンによる求職情報の検索と相談

芦屋市商工会

女性の再就職適性講座(キャリアカウンセリング)

「女性の再就職のための能力開発や適性発見」のための講座の開催を働きかけ、商工会・阪神南地域中小企業支援センター主催で開催。キャリアカウンセラー有資格者4人が講座修了後個別のキャリアカウンセリングを実施。

NPO 法人

NPO・コミュニティビジネスに関する無料相談会

「NPOさんぴいす」は女性センター登録団体のうちのひとつで、IT関連サポート事業を中心に人材育成・人材登用の場の創出や地域コミュニティの活性化を目指す取り組みへの支援等を活動目的としており、センターで月1回の無料相談会を開催し、市民の活動支援やネットワークづくりを行っている。

女性センター講座「編集ボランティア養成講座 - パソコン編 - 」

地域や学校で行うIT関連サポート事業を、行政の事業にも活かしてもらうため今年度初めて講座の講師として迎えた。地域団体の持つ活力を行政の事業を通して市民に提供できる機会

でもある。またこの講座の修了生は、地域での活動に参加したり、女性センター通信の編集ボランティアとして活動することで、地域力のアップにつながればと考える。

(財)21世紀職業財団

(財)女性労働協会

保育(育児)サポーター養成講座

ファミリーサポートセンターの設立を目指して、地域での子育て支援のための保育サポーター養成講座を実施。

《教わったことが社会に還元された取組例》

ファミリーサポートセンターの設立を目指して、地域での子育て支援を行うサポーターの養成講座を(財)21世紀職業財団及び(財)女性労働協会と連携して実施。事業初年度の講座修了生有志でグループ活動として「芦屋保育サポートセンター」を結成し、活動開始。その後の講座修了生有志も活動に参加。事業開始5年目にファミリーサポートセンターがオープンし、「芦屋保育サポートセンター」は発展的に解消し、メンバーは、ファミリーサポートセンター協力会員として活動する一方、一部メンバーにより新たに「保育グループにここ」を組織し、グループ保育を活動の中心とする地域での子育て支援を実施。

<女性センター講座案内>

————— 育児サポーター養成講座 —————

日 程	カリキュラム	講 師 (敬称略)
10/21(月)AM・PM	オリエンテーション 心の発達とその問題	講座担当職員 白川 蓉子(神戸大学発達科学部教授)
22(火)AM	育児支援の背景	上田理恵子(マザーネット社長)
22(火)PM	子どもの栄養と食生活	徳満 広江(学校栄養士)
23(水)AM	子どもの遊び	原坂 一郎(神戸市立葺合保育所保育士)
23(水)PM	子どもの健康管理	鈴木 紀元(小児科医)
24(木)AM	子どもの世話	棚原 博子(市担当者)
24(木)PM	病児の保育	渡辺 厚子(芦屋病院助産師)
25(金)AM	子どもの身体の発育	瀬戸山敏子(市保健センター保険師)
25(金)PM	保育サポートの今後の活動等	吉田祐美子(芦屋保育サポートセンター代表) 西村 雅代(市担当者) 林 雍子(市担当者)

AM は午前 10時 ~ 12時、PM は午後 1 時 ~ 3時(最終日のみ 4 時)

- ◆ 場 所 芦屋市女性センター
- ◆ 対 象 地域で育児サポートを志す方 30人
- ◆ 受講料 無料(別途要資料代 2,500円)
- ◆ 申し込み 電話・ファックス・はがき・Eメールで住所・氏名・年齢・電話番号・講座名を明記の上、10月16日までに女性センターへ。
- ◆ 主 催 芦屋市女性センター・(財)女性労働協会